

公益社団法人京都保健会 さく かみぎょう サービス付き高齢者向け住宅 咲あん上京



地域医療を支える拠点として親しまれてきた上京病院跡地に、京都保健会として初めて建てられたサービス付き高齢者向け住宅です。この計画には、「住み慣れた街で安心して最後まで暮らしたい」という人々の思いに応えたいという法人の構想に加えて、サポート組織「友の会」や地域の方々の思いも様々に込められています。プロジェクトチームで、他の類似施設の見学をさせていただいたり医師やヘルパーなど各分野から意見を出し合っって安心の住まいと地域の拠点作りを進めていきました。

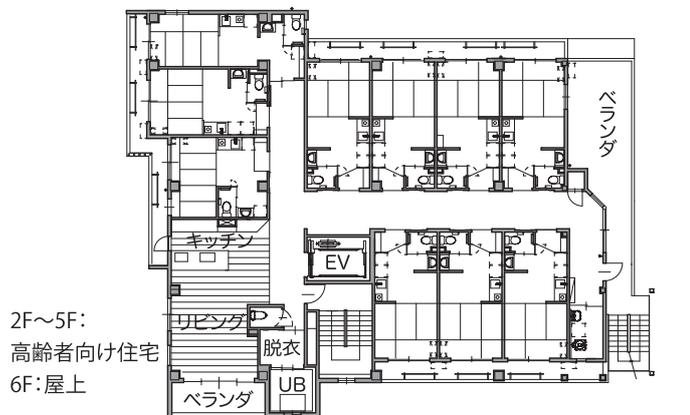
住まいについては、ヘルパーさんから、日々訪問しておられる上京区のお年寄りの住まいを写真で紹介していただき、馴染みの空間について話し合い、台所や洗濯、畳スペースなどに反映されました。また、共用の居間を一番居心地がよく眺めのいいところに配置しました。ゆったりとした椅子に座っておしゃべりしたり、お茶を飲んだりして共に暮らす楽しさを感じていただきたいものです。1階には専用の食堂を設け、フル装備の厨房で食材にこだわった手作りの食事が提供されています。

咲あん上京のもう一つの特徴は、1階の半分近くが地域の交流スペースとして利用されることです。

玄関を入った所に京都ワークハウスの「まんまん堂カフェ」があり、その奥に少人数で集まれる中の間スペース、一番奥は畳の広間になっています。カフェは気軽に立ち寄れる場として常連さんも増えてきているようです。中の間では上階に住む居住者と地域の方々の朝の健康体操が始まっています。この地域の人々の暮らしに花が咲くような居場所になりますように願っています。



千本通りの外観



2F~5F:
高齢者向け住宅
6F:屋上



まんまん堂CAFE 外と中がゆるゆるとつながる場所に



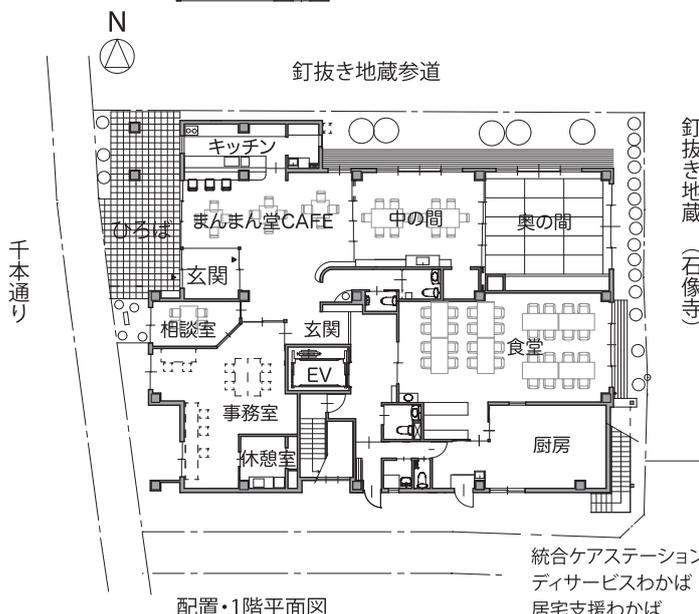
高齢者住宅共用の食堂
夕方黄昏時、思い思いの時間に食事ははじまります。手押し車に小さな缶ビールを下げてご婦人がやってきました。



玄関周りの床を色分けし、陶板をあしらった表札を付けました。



玄関周りの軒下空間は、千本通の歩道に膨らみをもたらせています



配置・1階平面図

統合ケアステーションわかば
ディサービスわかば
居宅支援わかば
上京鍼灸治療所

DATA	敷地面積	512.57㎡
	建築面積	395.58㎡
	延床面積	1782.87㎡

鉄骨造 6階建 住戸数:40戸
設計:もえぎ設計
設計共同:FUU空間計画
施工:(株)藤木工務店